

ワールドファッションフェア'98

ワールドファッショントレードフェア'98  
[WFTF'98]

2月25・26・27日開催 インテックス大阪うぐいすの谷渡りの声が聞こえる頃にワールドファッションフェア'98が始まり、新しい年に向けてのテキスタイルに関する衣料・インテリア・寝装etcが集められ盛大なイベントが催され、TDAのテーマは、2000年に向けてのPartII-リアライズ/「自分」を支えるテキスタイルで幕を開けました。

出展社数：375社（団体含む）、  
国内247社/海外128社

参加国数：19か国・地域  
入場者数：26060名

3日間のうち最初の2日間は天候に恵まれず、入場者数が少ないのではと、懸念していたのですが心配することなく昨年よりのびていました!!

参画者 石原 薫 梅田幸男  
大都城みさ 尾原久永  
鈴木洋行 橋 喬子  
寺井洋介 はしまえつこ  
平岡 清 平岡美子  
松井武雄 松本美保子  
宮武京子 山内 誠  
矢貫怜子 (アイウエオ順)

足立豊樹 井関淳子  
岸本恵巳 小山詩布  
丁 貴正 瀬尾美保  
中尾由香 橋本幸子  
藤浦美幸 布施ちあき  
三栖和子 山口典子  
山下裕子  
(大阪芸術大学学生  
アイウエオ順)

混迷の20世紀末と21世紀を結ぶ2000年。TDAはその2000年に向けたテキスタイル・クリエイションのためのトレンドをまとめました。このささやかなトレンドが、あなたの創造の翼となるように…。

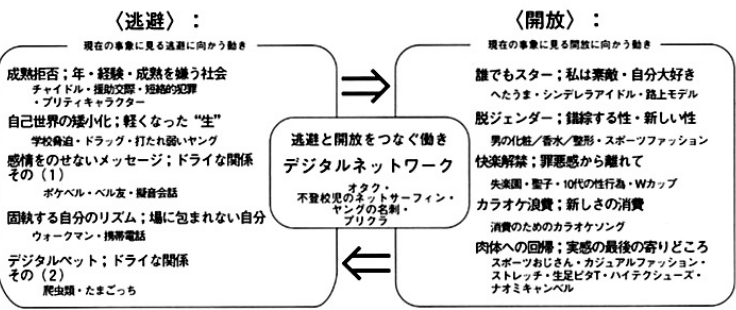
CREATION・TRENDS 2000 PART2

ーリアライズ/「自分」を支えるテキスタイルー

過去から現在に至る時代の潮流の名前で、私たちが生活の中に求めるものは大きな変化をとげてきました。所有倍増、3C(カー・クーラー・カラーTV)、海外旅行、有名ブランド等々…、その時代に求められるものにはその時代特有の理由が存在します。ここでは、社会や意識の流れを踏まえながら、2000年に求められる“テキスタイル”を探ってみました。

〈テキスタイル・クリエイションの背景となる社会・意識の流れ〉

- ～70年代： 高度成長の掛け声のもとでの欲求の充足の時代  
▼ 豊かな生活を体現できる明確なモノが示されていて、社会やトレンドが提供してくれる価値を享受できた。
- 80年代： 身をゆだねていた社会システムが揺らぎだした時代  
▼ 豊かな時代の中で、徐々に、あふれる情報を選択して、「私」の物差しで価値をとらえるようになった。  
・体制・イデオロギーの崩壊 ; 国民主義化(87)・ベルリンの壁崩壊  
・流行から量こなすへ ; DCブランド・相模・流カジ・ストリートファッション  
・マニアル志向・自分が基準 ; 「向となくクリスタル」・「びあ」・「サタ記念日」・オタク
- 90年代： 社会のシステムの揺らぎが顕在化する中で自分を模索する時代  
▼ 従来の社会規範がゆらぎ、主義・体制・属性から離れて個人的な関心が優先し、社会的な秩序や概念を越えて新しい自分の価値を求めだした。  
・体制・主義・属性への疑問 ; エコロジー意識(90)・パブル崩壊(90)・  
自民一党支配の経緯(93)・金融システム崩壊・官憲汚職の露見(97)  
・新しい自分を見つける動き ; 整形・茶髪・エステ・ボディピアス・タトゥ・ヘアスード・アムラー・夫婦別姓  
・自分を見つける意識 ; 「ソフィの世界」・「パラサイトイブ」・「リング」・「らせん」
- 2000年： リアライズ/自分を支えるテキスタイル  
▼ 崩壊・混迷する社会システムの中での開放と逃避のドラマ  
社会規範や倫理観などが希薄化する中で、正邪・真の錯綜から生じる社会システムの軽視・逸脱、個人的価値観の重視と快適・快感の指向。



そして、21世紀には、自分と環境との新しい関係(リアライズ/自己実現)の構築が期待される。

TDAのビジネスセミナー参加

今年は開催全日(25日～27日)のセッション1,2の講演が決まり、セッション1 TDAの展示内容の解説

- (山内 誠 橋 喬子 宮武 京子 丁 貴正)
- セッション2 25日 20世紀のテキスタイルデザイン (上野昌男)
- 26日 21世紀に向かってのテキスタイルデザイン (山口道夫)
- 27日 テキスタイルデザインとコンピューター (梅田幸男)

と、また聴講者も予想より上回り、充実したセミナーになりました。私(宮武)も丁さん(大阪芸術大学院生)と二人で27日のセッション1を受け持つことになり“君達なりの解説を”…と。未経験の者同士で、困っている時はメンバーの方々から助言を頂き、感謝、感謝しています。

実際参加して、始めは戸惑い未知の世界に入っているような気がしましたが、終わって見てホッとした時、喜びが大きくなり今回参加できてとても良かったと思いました。

